

人との繋がりが生んだ新たなステージ 鉄道フェス2021へ参加



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）浜北募集案内所は、11月28日（日）にイオンモール浜松市野（浜松市）で行われた「鉄道フェス2021」に参加し、広報活動を行った。

これは、ローカル鉄道キャンペーンの一環。天竜浜名湖鉄道の「花のリレープロジェクト」に所員が余暇活動として参加した繋がりが、同鉄道と合同で行ったもの。

浜北所は2年ぶりの市街イベントということで、子供用ミニ制服等の試着、記念撮影、自衛隊クイズ大会、ぬりえコーナーなどを設置し、所員総出で臨んだ。

ぬりえコーナーでは、陸・海・空自衛隊の装備品の中から好きなものを選ぶことができ、子供たちはカラフルな戦車などを描いていた。

自衛隊クイズ大会では、浜松・浜名湖地域で活躍する女性で構成された「海の湖HAMANA Aジェンヌ」の小川綾乃さんがMCとしてクイズを出題し、同メンバーの大久保結奈さん達が解答者に景品などを渡した。

クイズには子供から大人まで大勢が参加。子供の横でスマホを使って答えを検索する保護者の姿もあり、MCが「お母さん、頑張つて！」と応援する微笑ましい場面もあった。解答者は、ここでしか手に入れない自衛隊グッズに喜びの笑顔を見せていた。

訪れた来場者からは「自衛隊さん、久しぶりだね」「制服着てみたかった」等、自衛隊との触れ合いを喜ぶ声があちこちで聞こえた。

静岡地本は、人との繋がりが生まれ新たな出会い・ステージを大切に、地域の人々との交流を深め、自衛隊をより身近な存在として認識してもらえよう魅力を伝えていく。

中学校の未来授業で自衛隊をPR

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）静岡募集案内所は、12月3日（金）、常葉大学附属橘中学校（静岡市）で開催された「未来授業」に講師として参加した。

これは、生徒と地域の大人が関わり合いながら、未来や将来のことを考える機会をつくり、学校と地域が協力して未来の大人を育てていくことを目的に行われているもの。

当日は50分の授業を2回実施し、計14人の生徒が自衛隊の授業に参加した。

生徒たちと名刺交換を行った後、海上自衛官が入隊から今までの経験談を語り、仕事をする喜びや、やりがいを生徒たちに伝えた。

また、航空電気整備士になるために学んだ基礎的な電気記号を問題に出し、生徒たちは活発に手を挙げて解答していた。

その後、自衛隊の制服や防衛記念章などの展示物を見学し、陸・海・空それぞれの制服を試着すると、お互いの姿を見ながら「かっこいいね」と声をかけ合い、楽しんでいった。

授業終了後、生徒からは「将来自衛官を目指しているの、直接話を聞くことができ夢が広がった」「自分に合う仕事が自衛隊の中にいっぱいありそう」といった感想が聞かれた。

静岡地本は、これからもこのような機会を活用し、多くの未来ある子供たちに自衛隊を知ってもらえよう広報活動に努めていく。

